

長泉町・さわやかハイキング報告書

通算山行 NO	NO・109	報告者	井上 弘二郎
年 月 日	2011年7月9日(土・曇り)	2万5千	中川
山 名	西丹沢・檜洞丸(1601m)		
体力度=3・普通 技術度=3・普通 藪漕=無し 道標=ある トイレ=自然教室 展望度=なし 三角点名=ない			
<b>来たる夏山の訓練山行</b>			
コース とタイム	石和宅前5:00-小松宅前5:05-村山宅前5:15-南一色マツ前(井上)5:25-西沢自然教室駐車場出発6:40-7:10-犬越路登り口7:10-用木沢大ブナ7:30-犬越路着8:20-檜洞丸頂上着10:40-昼食休憩-下山開始11:40-ゴウラ沢出会い13:05-自然教室駐車場着13:40-ぶなの湯(2時間700円)14:00~15:00-長泉16:15頃		
標 高 差	上り 西沢自然教室 540m~檜洞丸1601m=1161m 下り "		
参 加 者	CL 後藤隆徳、伊藤従人、村山忠彦、小松真明、石和加代子、井上弘二郎 合計=6名		

この夏に計画されている夏山縦走に向けての訓練山行である。昨日、梅雨明けが宣言された。夏の始まりである。しかし、車での移動中は霧雨が続き、不安がよぎる。やがて雨はやむが曇り空だ。気温はそれほど高いと思わないが湿度は高い。自然教室駐車場はすでに数台とまっている。林道を30分歩き、用木沢に入る。何度か滑りそうな簡易な橋を慎重に渡る。やがて本格的に登りが始まった。私にとって、九州出張後、今日は約半年ぶりの山行であった。



用木沢

荷物を 10～15kg にして訓練とする連絡があったので、12kg にした。暑さ対策には、冷凍の飲み物も 1.5L 準備した。登り始めて、息があがり、心臓はバクバクし、脚の筋肉が痛い。山登りがこんなにしんどいことを忘れていた。あまりにしんどいので犬越路の休憩で水を 1L 捨てる。飲んだ分を入れるとかなり軽くなったようだ。

ここから、檜洞丸まではアップダウンの繰り返しで、単純な標高差以上の登りがある。このコースは 2 回目だが、前回もたいへん疲れた記憶がある。後藤リーダー以外は皆疲れたようだ。小さな虫が顔のまわりを飛びまわり、耳や鼻に入ってきてそうになる。暑いのでズボンの裾をまくり上げていたら、何箇所か虫に刺されていた。垂直に近い梯子あり、鎖あり、長い木道あり、登るたびにこの先は頂上かなと思うが、まだまだ先は長い。訓練の為に、鎖場では鎖を使わずに登るようにする。

子鹿を見た。蝉が山全体で鳴いているようだ。体長 2cm くらいで透明な羽の蝉だ。初めて見た。花は、ミツバツチグリ（三葉土栗）、夏椿、ヤマボウシ（山帽子）が見られた。暑い。風はほとんどない。やはり気温は高くないと思うが、体の熱と流れ続ける汗のせいで暑いと感じる。周りはガスのため眺望はない。下を向いて歩いていると、ぽたぽたと汗が落ち続ける。



山帽子

夏椿



ようやく頂上に着く。2, 3 組の先着組がいた。昼食中も小さな虫が飛んできて閉口した。衣服やタオルは汗でべっとりと濡れ、全く乾かず気持ち悪い。下山を開始し、高速で下りていく。

ゴウラ沢出会で一息休憩。清流の水で顔を洗い、タオルを水に浸し体を拭く。このころには青空が現れ、木々の濃い緑色と、沢の透明な水と素敵な景色だった。さら

に進むと看板があり、従来の本道に加え新道が出来たようだ。

今回は新道を下りることにした。東沢までどんどん下り、そのあとは沢沿いにのんびりと歩く。道路に出たところの看板には、「初心者コース」と書いてあった。駐車場に着くとべとべとの服を着替え、「ぶなの湯」温泉に入った。朝からまとわりついていた汗をすっきりと流し、気持ちよく長泉に帰ることができた。下土狩「三楽」でのビールが最高にうまかった。

#### その他の記述（後藤）

1. 井上君は九州長期出張後、初山行だったがブランクは感じさせなかった。
2. 小松さんは、槍～穂高、白根三山に参加するための訓練だが、無難にこなした。
3. 今回は歩行訓練であるが、この時期「耐暑（熱？）訓練」でもある。
4. 下山後、下土狩「三楽」で、井上君の帰還祝いを行った。



つつじ新道



檜洞丸頂上

